




# KOKUSAI SAFETY



Keeping Smile & Communication

国際セーフティー株式会社

<https://www.kokusai-safety.co.jp>



まもるべき「今」がある。  
まもりたい「未来」がある。  
そこに私たちの想いがある。

国際セーフティは  
「社会」と「安全」を結ぶ  
架け橋の企業として、  
日々の探求と挑戦を忘れません。

多様化する都市型犯罪やサイバー犯罪、進行が止まらない少子高齢化……。私たちを取り巻く環境は、目まぐるしく変化し、複雑化しています。そんな中、危機管理や安全管理へのニーズはさらに高度化・多角化しています。

「警備」という単純な言葉では語りつくせない領域へと広がっています。

国際セーフティは、ヒューマニティあふれた優れた人材と、先進のテクノロジーを駆使した高度なサービスで、総合セキュリティ企業としての確固たるポジションを築いてきました。

私たちはこれまでのサービス、システムの枠を飛び越え「やすらぎ社会創造企業」を目指します。日々安心して過ごすことは、文化的な社会を創る基本。さらに快適で豊かな社会を生み出すために、私たちはセキュリティ・システムの発展を図るとともに、様々なサービス領域へと活動フィールドを拡大していきます。「安全・安心・快適を守る」という公共性の強い事業に携わることへの誇りと責任を胸に…。

# 24時間、 眠らないセキュリティ。

総合セキュリティ企業として、  
様々なニーズに  
迅速・確実にお応えします



社会が複雑になり犯罪が多様化し、加えて災害が増加しています。そんな時代だからこそ、国際セーフティーは、総合セキュリティ企業として「24時間安心できる環境づくり」を目指しています。

IT等の驚異的な進展と情報システムの社会基盤の充実を背景に、セキュリティサービスにも情報の立体的なネットワーク化が求められています。そのニーズに応えるのが「総合セキュリティ」です。これは「機械警備」「常駐警備」「イベント警備」「ホームセキュリティ」「カメラ・AED・防犯グッズ」という5つの基幹システムを有機的に結合補完しながらシステムを一元化し、より高次元での効率的なセキュリティを構築します。その根底には、私たちが誇る最先端のテクノロジーと優れたヒューマン・エフォートがあります。「確かな安全」「揺るぎない安心」を提供する。

ここから、「高い信頼性」を基盤とした、未来の「快適空間」が生まれます。



# System Security

オフィスビル・マンションから、商業施設・一般のご家庭まで、それぞれのケースに応えられる多彩なシステムを運用。

# 機械警備

些細な変化も見逃さない、最先端テクノロジーシステム。

## 24時間、安全をお届けするために、最先端のセキュリティシステムで監視します。

社会活動や営業形態がますます多様化する流れの中、それを支える「安全」に対するニーズは日に日に重要性を増し、複雑化しています。より便利に、より効率的に、「安全」を支える上で必要不可欠といえるのが機械警備です。機械警備の活用フィールドは、オフィスビル・マンションをはじめ、工場や倉庫、病院や金融機関など多岐にわたります。国際セーフティのサービス領域は防犯だけでなく、火災警報・設備異常の監視からエレベーター・照明等の制御まで広範囲に、最先端のシステムによる機械警備を実現しています。さらに様々な施設・建物に対して適切な警備診断を実施し、専門知識を備えた防犯設備士が綿密なセキュリティ・プランを立案しております。





# 常駐警備

いつ訪れても安心・快適な  
空間づくり。



## Human Security

お客様のニーズにお応えし、最大限のホスピタリティを持った警備員を配置。確実な安全と安心を提供しております。

不特定多数の人々が行き交う空間を、  
経験豊かなプロが守ります。

オフィスビル、ショッピングモール、病院、ホテルなど不特定多数の人々が利用する複雑化・多目的化した施設を、高度な教育を受けた警備員が柔軟に対応し「安全・安心・快適」を守ります。

また、国際的なテロ情勢の緊迫化を受けて、原子力発電所等重要な施設について卓越した専門技能と管理能力を備えた施設警備業務1級資格警備員が指揮して、人々の生命・身体及び財産を守ります。

このように、硬柔両用に適切に対処できる知識・技能を持った警備員を養成し、幅広い需要に応えています。





# イベント警備

特別な雰囲気最後まで  
こわさず、守りぬく。



※2020東京オリンピック

## Event Security

積み重ねた経験と実績で「来場者の安全」と「円滑な進行・運営」を守ります。

大勢の人がひとつの場所に集中することで生じる危険や混乱を未然に防ぎます。

ライブスポーツ・テレビ中継・劇場などの各種イベント等は大勢の人が一箇所のスペースに集中するため、適切に整理・誘導することが必要です。

国際セーフティーでは、雑踏や群衆の特徴を踏まえた対応及び効果的な広報を実施するため、交通誘導・雑踏警備業務の検定資格を有する警備員を配置し、混乱の防止とお客様が安全・快適に過ごしていただける体制を構築しています。また、関西で唯一長野オリンピックの警備を担当した経験を十二分に生かして、綿密な企画力と専門性に裏打ちされたスペシャリストが、技術を駆使して安全を守ります。





# ホーム セキュリティ

家族の笑顔と快適を守る。



## Home Security

家族の笑顔を守るために、  
個人のものにも対応できるシステムを  
提供します。

本当にくつろげる場所ってどこでしょう。それは、大切な家族が笑顔で迎えてくれるマイホームです。その家庭が、いつも楽しく幸福であるためには、暮らしの中にある「不安」をなくすことが必要です。

高齢化社会の到来、生活様式の多様化などにより、この「不安」は、今後ますます複雑になっていきます。国際セーフティーは、永年にわたる警備事業で培ったエレクトロニクス技術や通信システムをフルに活用し、個人レベルでの緊急事態に対応できるサービスを提供しています。そのひとつが、盗難保険付「ホームセキュリティ」で、防犯をはじめ火事・ガス漏れなどの防災にも威力を発揮します。また高齢の方には「緊急通報システム」を用意。急病や家庭での事故など、非常事態に迅速に対応できます。

「おかえりなさい」そんな温かな言葉が響く家庭づくりにも、私たちは貢献しています。

健康な人から高齢の方のセルフケアまで、ご家族の皆様が安全・安心・快適に暮らしていけるよう、万全のセキュリティでお応えします。

健康な人から高齢の方のセルフケアまで、ご家族の皆様が安全・安心・快適に暮らしていけるよう、万全のセキュリティでお応えします。





# 防犯・防災 ソリューション

カメラ・AED・防災グッズ

命を救う 使命感に燃えて。



## Disaster prevention solution

増加する犯罪や不正に対する、  
事件解決への手掛かりや、抑止力と意識向上の  
ために、防犯カメラのプランニングをします。

昨今、コンビニ、銀行、商業施設など、日常生活において見かけない日はないくらい、防犯カメラは普及しております。新聞・テレビのニュースで報道されているように、防犯カメラの映像は、事件を解決に導き、また、犯罪を未然に防ぐための欠かせない存在になってきております。当社では防犯カメラ設置に関するプランニング・工事・メンテナンスまで総合的に行っております。



AEDを使うことで“あなたの力“で救える命が  
あります。“あなたの力”のお手伝いをします。

現在日本では毎日およそ200人が心室細動という不整脈によって突然命を失っています。救命措置には速やかな電気ショックが欠かせず、その場に居合わせた一般市民（バイスタンダー）による電気ショックを可能にしたのがAEDです。当社ではAED設置に関する管理や教育をし、命を救うお手伝いをしております。



災害対策はできていますか？

各種要望に応じた防災用品の計画を提案します。

近年、企業では災害やテロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく「事業継続計画」(Business Continuity Plan) が求められています。当社ではお客様の事業内容や企業規模に応じた防災ソリューションのプランニングを行い「事業継続計画」の支援をさせていただきます。







# 人材教育 プログラム

確固たる信頼は、  
確かな人材から生まれる。



## Human resource education

「守る」という責任ある業務に  
ふさわしい人材育成を基本にプ  
ログラムを実施しています。

妥協を一切ゆるさず、  
様々なニーズに対応できる「安全を守る」  
プロフェッショナルを育成します。

時代と共に警備の確実性は向上しています。高性能な防犯カメラ、警備ロボット、警備ドローンなど、ハイテクノロジーの発展スピードはすさまじいものです。しかし、その技術をコントロールしたり、随時変化する現場の状況に対応するのはあくまでも人間です。国際セーフティーは人材の充実・発展こそが警備の基本という考えをベースに、綿密なステップによる有資格者数を多数育成する人材教育プログラムを実施しております。豊富な経験を積んだエキスパートを教官に迎え、人格の形成にはじまり、専門技術の取得、警備技術の開発・伸張など能力開発過程は多岐にわたっています。心身ともに強靱で臨機応変に対処できる警備員の育成に日々取り組んでいます。





# 私たちの一步一步が、 日本の警備の歴史です。

昭和42年(1967)。日本の高度成長の最終期に、国際警備保障として大阪で産声をあげました。当時の社員は3名。しかし、それぞれが「かけがえない生命と財産を守る」という仕事に、強い信念と誇りを持っていました。

日々の地道な努力の結果、営業拠点を次々と開設。東京、東海、中国、四国、九州...と。私たちの信頼の輪は全国へと広まってきました。この間、私たちが心がけたのが、人と技術の融合。常に最先端のテクノロジーを追求する一方で、警備の基本であるヒューマン・エフォートの充実には細心の注意を払いました。

エリアの拡大とともに対応する業種も多種多様。それぞれのニーズに応えられるようにノウハウの蓄積と応用、専門知識の取得にも努めました。その結果、幅広いネットワークと奥深い知識というふたつのタスクを手に入れ、私たちは比類なきグループパワーを持つことができました。この実績と実力が認められ、平成2年(1990)には国際花と緑の博覧会、平成10年(1998)には関西企業で唯一、長野オリンピックの警備を担当。私たちの自信となりました。

そして、令和元年(2019)新時代に対応すべく、安全・安心に関する業務の一層の多角化、さらなる広域的活動を展開するため、国際セーフティーとしてリスタートしました。

創業当時、胸に抱いていた「守る」ということへの信念と誇り。それは時代の進んだ今でも変わりありません。時の流れとともに警備のスタイルは変化しても、思いはいつまでも同じ。

これからも「安全」「安心」を提供するために、私たちは未来を見つめて前進し続けていきます。



## 会社沿革

1967年	7月	大阪市東区内本町橋詰町3番地に国際警備保障株式会社を徳田辰巳が創業し社長に就任する。	1998年	2月	長野オリンピック警備の担当。
1972年	6月	全国周波警備業務用無線局の免許認定を受けるとともに集中管理体制による電子機械警備・コクサイEEシステムを完成。	2000年	3月	淡路花博ジャパンフローラ2000本部ゲートを含め、3ヶ所の管理ゲートの出入管理を担当。
1982年	10月	社業の伸展にともない、現所在地に5階建自社ビルを購入し、本社を移転。	2002年	6月	日韓FIFAワールドカップの警備に参画。
1983年	6月	新警備業法に基づく警備業社としての認定を受ける。(大阪府公安委員会No.333)	7月	創業35周年、本社新社屋完成。新・監視センター稼働。	
1988年	4月	なら・シルクロード博の警備に参画。	2006年	6月	警備業功労団体表彰を受ける。(社団法人大阪府警備業協会・大阪府警察本部長より)
1990年	4月	国際花と緑の博覧会で警備を担当。	2016年	7月	50周年記念式典 気持ちを一つに「チャレンジ50」!
1994年	4月	岡山にてF1バシフィックグランプリの警備実施。	2019年	7月	国際セーフティー株式会社に社名変更。
			2021年	7月	東京2020オリンピック警備の担当。